

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1235	単位数	2
担当者名	山田 勅之	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	有 旅行代理店
ナンバリング	LSe603	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本ゼミナールでは、まず観光社会学の概説書の輪読を通じて、観光学がテーマとする対象と分析理論の基礎を学びます。次いで、そこで得た知識に基づいて、自らが関心を持つ観光現象について研究計画書を作成します。そして作成した研究計画書に沿って、資料収集を行い、分析検討して、結論を導き出します。これら一連の作業を全て自らが能動的に行ない、その成果をプレゼンテーション及び研究レポートという形で発表します。

このように観光学の理論と実証を通じて、豊かな知識、柔軟な発想を身につけます。

● 到達目標

- ・ 著者の伝えたいことを正確に把握して、他人へ伝える力。
 - ・ 課題を自ら発見して探求する力。
 - ・ 自分の考えを根拠をもって論理的に説明できる力。
- 観光の現場で実践できる能力の獲得ができます。

● 授業内容

1週目 ガイダンス：ゼミの進め方、方針。

観光学とは何か？

2週目 輪読 「観光社会学」が目指すもの

3週目 輪読 「観光の近代」

4週目 輪読 「オルタナティブ・ツーリズム」

5週目 輪読 観光研究の領域 「エスニック・ツーリズム」

6週目 輪読 観光研究の領域 「宗教ツーリズム」

7週目 輪読 観光研究の領域 「ホスピタリティ」

8週目 輪読 事例研究

9週目 輪読 事例研究

10週目 研究計画書作成

11週目 研究発表準備

12週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。

13週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。

14週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。

15週目 研究レポート作成

16週目 研究レポート添削と修正。講評と振り返り。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・ 予習
輪読では事前に必ず該当箇所を熟読しておくこと。研究発表ではパワーポイントにて内容をまとめてください（90分程度）。
- ・ 復習
ゼミ生の発表を振り返り、自分自身の考えをノートにまとめる（30分程度）。

● 成績評価の方法・基準

輪読への参加度、研究計画書、研究発表、研究レポート、プレゼンテーション、議論への参加度などを評価の対象となります。

● 履修上の留意点

- ・ 遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。出欠は授業の参加度の観点から管理します。改善されない場合は不合格となることがあります。発表については全員で評価します。
- ・ LMS上で資料を配布します。講義ではこれらを事前にプリンアウトして持参するか、スマホやタブレット、ノートパソコンなどを持参して使います。（学内アクセスポイントを使用予定）。

● 課題に対するフィードバックの方法

研究発表については、口頭にてコメント・評価します。
研究計画書と研究レポートについては、評価・添削して返却します。

● テキスト

特になし。

● 参考書

- 安村克己・堀野正人・遠藤英樹・寺岡伸悟編『よくわかる観光社会学』（ミネルヴァ書房）2860円
- 大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編『観光学ガイドブック』（ナカニシヤ出版）3080円
- 遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著『現代観光学 ツーリズムから「いま」がみえる』（新曜社）2310円
- 竹内正人編『入門観光学』（ミネルヴァ書房）3080円

● 更新日付

2024/01/30 10:53